

伝統遊具づくり お手玉

「お手玉」は、小さなきれの袋に小石・小豆・米などを入れた女の子の玩具でした。古くは小石を投げ上げて遊んだことから「イシナゴ」「ナナイシ」と呼ばれ、今日でも名称にその名残があります。

★たわら型

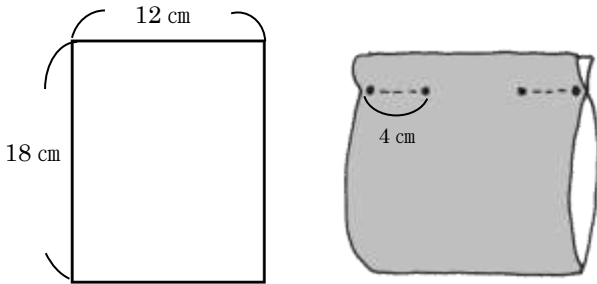
材料：木綿布(幅12cm×長さ18cm)1枚・小豆
 道具：針・糸・はさみ・紙

※材料は1個分です。

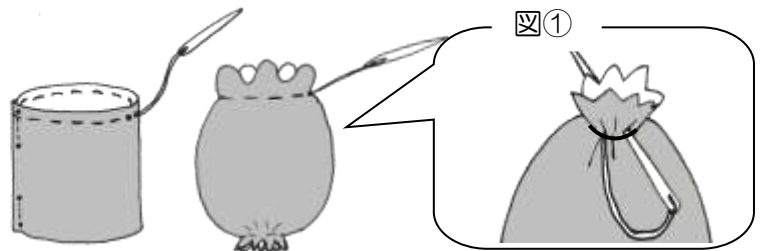
《作り方》

- ① 布を表が内側になるように半分に折り、左右それぞれの端から、小豆が出ない幅に並縫いで4cmほど縫っていく。

(縫いしろは1cmくらい)



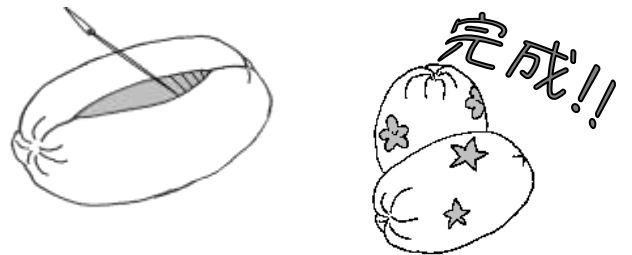
- ② 糸を2本どりにし、筒状になっている口の部分を一周並縫いで縫っていく。糸をひっぱり、布をしぼる。糸を一周巻き付け、しぼった部分の中心に針を通して(図①)玉止めする。(反対側も同様)



- ③ 布を表に返し、紙をじょうご状に丸め、中に小豆を入れる。

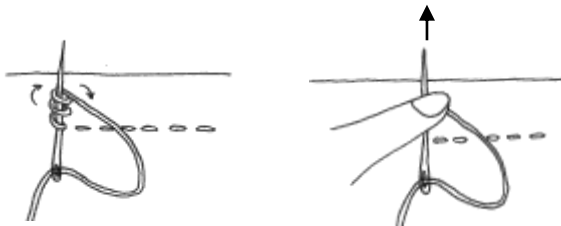


- ④ 開き口の縫いしろを中に入れて、縫い合わせる。《はしご縫い》玉止めをし、最後に針をお手玉の中にくぐらせて玉止めをかくす。



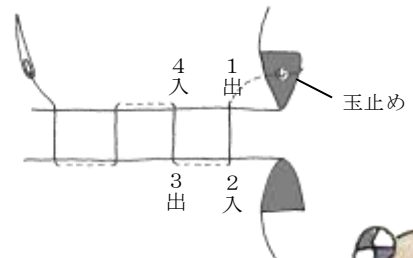
☆玉止め

縫い終わりに直角に針をあて、針先に糸を2~3回巻き付け、巻いた糸を親指で押さえ針を引き抜き止める。



☆はしご縫い

糸が表から見えないように、はしご状に縫い合わせる。



《遊び方》

最初は2個のお手玉から始めましょう。まず右手の玉を投げ上げ、左手に落ちる間に、左手に持っている玉を右手に移します。この動作をリズム良く連続で出来るようになったら、玉の数を増やしたり、片手だけで2個のお手玉を投げてみましょう。



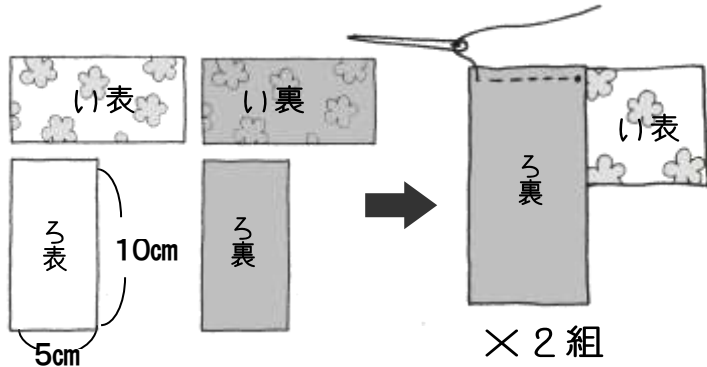
★4枚はぎ

材料：木綿布（幅5cm×長さ10cm）4枚・小豆

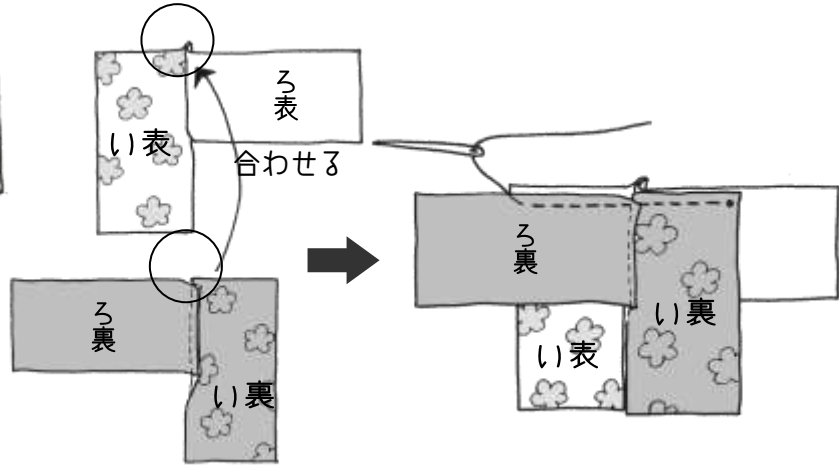
※材料は1個分です。

《作り方》

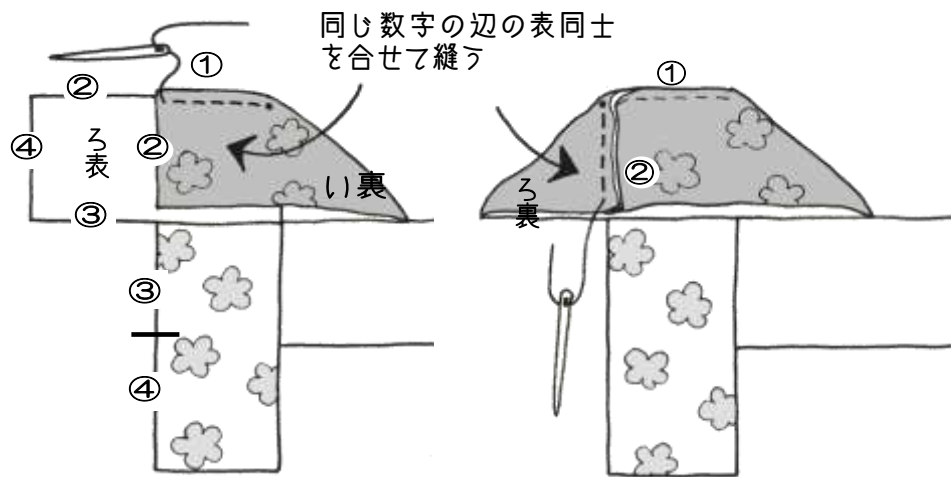
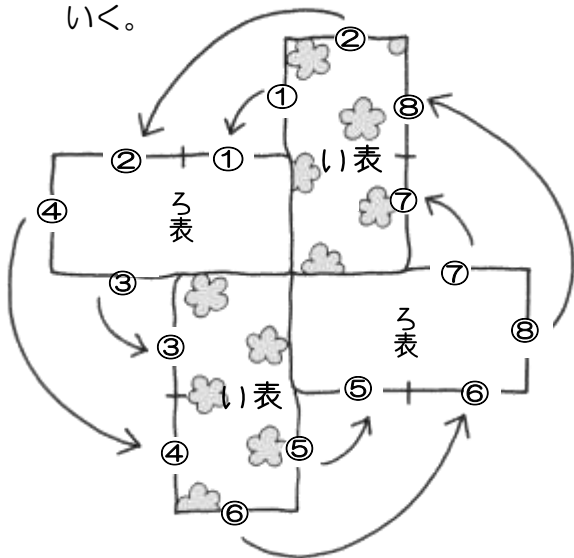
1. 4枚の布を2枚一組にし、図のように組み合わせ、内側が表になるように端を縫い合わせる。（縫いしろは5mmくらい）



2. 1の二組の布を開き、表同士の縫い目を合わせ、端を縫う。

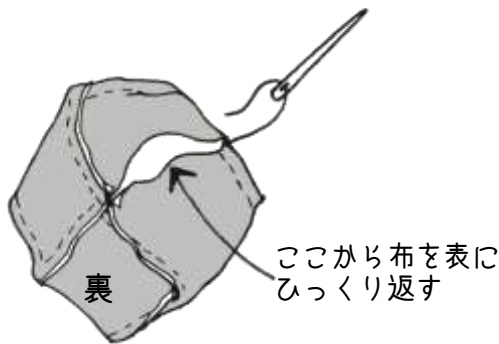


3. 2で縫い合わせた布を開き、内側が表になるように、隣り合わせた布の端を縫い合わせていく。



4. 最後の1辺を縫わずに残しておき、袋状になった布を裏返す。（外側が表になる）

5. 紙をジョウゴ状に丸めて、袋の開いているところに差し込み、中に小豆を入れる。



小豆と一緒に、鈴を入れると遊ぶときに良い音がするよ♪



6. 開き口の縫いしろを中に入れて、縫い合わせる。《はしご縫い》玉止めをし、最後に針をお手玉の中にくぐらせて玉止めをかくす。



完成!!

